

投資家は食品大手に、より健康的な商品のポートフォリオ構築を要請

- ESG投資家は、食品企業の健康・栄養への取り組みを客観的に評価する指標として、ATNI評価の導入をスタート
- ATNIは、食品企業の健康と栄養に関する取り組みを評価・レーティングするインデックスを公表
- ATNI評価を活用し、ShareAction（NGO）および機関投資家は、グローバル食品大手に対して、より健康的な商品のポートフォリオの構築を要請

ATNIの概要



概要	<ul style="list-style-type: none"> 食品・飲料製造企業及び小売企業における栄養問題への取り組みを推進するためのイニシアティブ オランダのNGOであるAccess to Nutrition Foundationが2012年に設立 複数のインデックスを開発・公表しており、下記はGlobal Index 2021について記載
評価対象	<ul style="list-style-type: none"> 2018年度の売上高に基づき、グローバルトップの食品・飲料製造企業25社が選ばれている 日本企業では、味の素、明治ホールディングス、サントリー食品インターナショナルの3社が対象
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 健康と栄養に関する「ガバナンス」「製品」「製品のアクセシビリティ」「マーケティング」「消費者のライフスタイル」「ラベリング」「エンゲージメント」の7分野について、18の基準、150の指標を設定し、評価
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 対象企業の開示情報に基づき、対象企業の健康と栄養に関するコミットメント、取り組み、開示状況を採点

(出所)ATNI、三菱UFJリサーチ&コンサルティング「ESG投資に係る食品産業等への影響調査委託事業調査報告書」より、みずほ銀行産業調査部作成

グローバル食品企業に対する資本市場からの要請



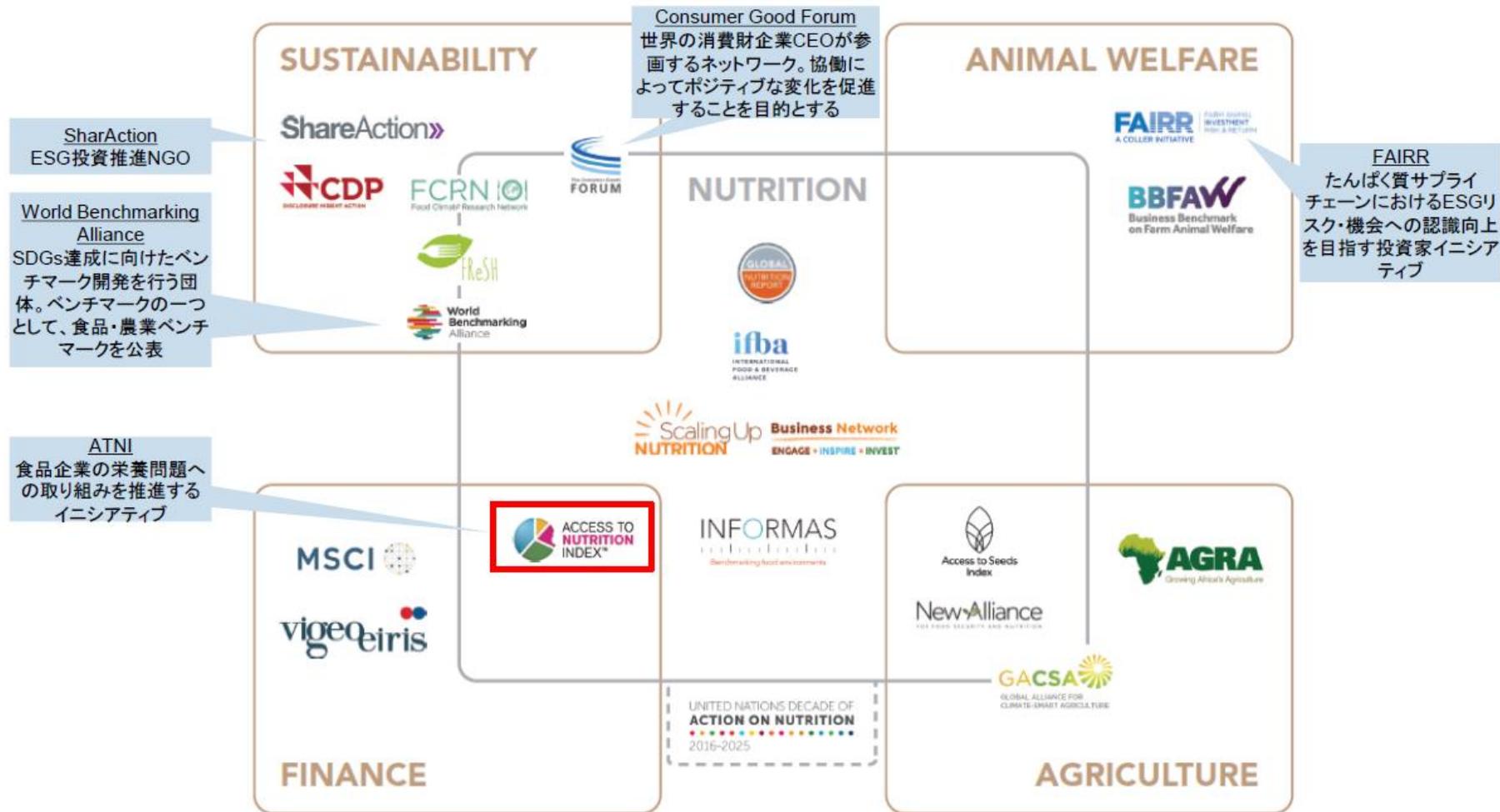
ATNI評価を材料に、より健康的なポートフォリオへのトランジションを要請

2022年1月	Unileverに対し、健康的な食品の売上高割合の開示と、健康製品割合の大幅増を実現する2030年目標の設定及び毎年の進捗状況の発表を要請。要請に当たっては、ATNIを用いた評価を説明材料として活用
2022年3月	Unileverは政府が推奨する6種類の栄養プロフィールモデルと独自の最高栄養基準を活用し、製品ポートフォリオのパフォーマンスを公に報告することを発表
2022年2月 4月	Tesco(2月)、Nestle、Danone、Kraft Heinz、Kellogg(4月)に対して、Unileverと同様の要請を実施

(出所)ShareAction、Unilever HP、公開情報Xより、みずほ銀行産業調査部作成

健康・栄養に関するイニシアチブ

- 近年、世界的に活動する健康・栄養に関する多様なイニシアチブの発足が活発化



(出所) Global Alliance for Improved Nutrition資料より、みずほ銀行産業調査部作成

食品の健康・栄養に関連する団体等

	ShareAction	World Benchmarking Alliance	Consumer Goods Forum	ATNI	FAIRR
					
概要	<p>責任投資を推進するために金融機関等を監視しているNGO</p> <p>2005年に設立。ロンドンに拠点を置く</p> <p>投資家、年金基金、資産運用会社、個人、慈善団体、政策立案者と連携</p>	<p>SDGs達成に向けたベンチマーク開発を行う任意団体</p> <p>2018年、国連財団、英保険AVIVA、オランダのNGO Index Initiativeが中心となって設立</p>	<p>世界の消費財企業CEOが参画するネットワーク</p> <p>世界中の消費財の小売業と製造業が結集した唯一の団体</p> <p>100カ国以上から約400社（リテラー、メーカー、サービスプロバイダー）が加盟</p> <p>30以上のプロジェクトとワーキング・グループに1,500人を超す専門家が参加</p>	<p>食品企業の栄養問題への取り組みを推進するイニシアティブ</p> <p>オランダに拠点を置き、国際的に活動する独立したNGOである Access to Nutrition Foundationによって運営</p>	<p>世界の畜産・養殖業界が抱えるESGリスクに焦点をあてた投資家ネットワーク</p> <p>2015年に発足</p> <p>336の投資家グループ、金融機関等が参加</p>
特徴	<p>金融システムを民主化して、環境、社会、ガバナンスの問題に関する企業行動を改善することを目的としている</p> <p>責任投資に関心のある個人や責任投資ネットワーク(CRIN)、欧州責任投資ネットワーク(ERIN)、および投資家、株主、年金貯蓄者に影響を与えている</p>	<p>世界の主要企業2000社を選定し、独自のベンチマーク基準で評価を行う</p> <p>食・農分野では45の指標化から構成されるベンチマークで評価を行う見込み</p> <p>食・農分野のベンチマークで評価対象となる日本企業数は42社</p>	<p>製販連携によって効率化を図り、ポジティブな変化をもたらすビジネス慣行を追求することで、競争を妨げることなく消費者や世界に恩恵をもたらすことを目指している</p> <p>「すべての消費者に安全な食料を確保する」、「フォレスト・ポジティブな未来を創造するため資源を動員する」、「世界中においてサステナビリティ基準への信頼を構築する」といった活動を推進</p>	<p>世界の世界的な栄養課題に取り組むために食品および飲料セクターが行った貢献を追跡および推進するツールとイニシアチブの開発に焦点を当てている</p> <p>Global Access to Nutrition Indexとして、企業、投資家、その他の利害関係者に、肥満、食事関連の慢性疾患、栄養不足への取り組みに貢献する世界最大の食品および飲料メーカーの評価を提供</p>	<p>投資家に対し世界の畜産・養殖業に携わっている企業のリスク分析結果を公開しており、9つの指標（GHG、森林破壊と生物多様性喪失、水不足と水資源利用、廃棄物と水質汚染、抗生物質、労働状況、アニマルウェルフェア、食品安全、持続可能なタンパク質）で評価</p>

栄養プロフィールモデルの活用が進行

- 栄養プロフィールモデルとは、疾病 予防及び健康増進のために、栄養分に応じて、食品を区分またはランク付けするツールのこと
- 食品の栄養面での品質を特定の算式によってスコア（数値）として算出するため、同じカテゴリー内の複数の製品や、改訂前後の製品の栄養価値を、共通した評価軸によって比較することが可能に
- 各国で栄養プロフィールモデルに基づいた栄養表示制度の採用が進む他、企業単位での導入が進められている

各国・企業の栄養プロフィールモデル導入状況

【NPSに基づく各国の栄養表示制度】

Nutri-Score
フランス、ドイツ、オランダ、スペイン、ルクセンブルグ、スイス、ベルギー



Health Star Rating
オーストラリア、ニュージーランド



Traffic Light labelling
英国

Each grilled burger (94g) contains

Energy	Fat	Saturated	Sugars	Salt
924kJ 220 kcal	13g	5.9g	0.8g	0.7g
11%	19%	30%	<1%	12%

of an adult's reference intake
Typical values (as sold) per 100g: Energy 966kJ / 230kcal

Nutrinform battery
イタリア



Classe per porzione (10g) contiene:

ENERGIA	GRASSI	GRASSI SATURI	ZUCCHERI	SALE
795 kJ 192 kcal	1g	6g	0,3g	2,1g
10%	22%	30%	0%	34%

della Associazione di Riferimento di un adulto medio (2.000 kcal / 8.400 kJ)
Per 100g: 1.589 kJ / 383 kcal

Guiding Stars
米国



Guiding Stars®
Nutritious choices made simple®

Nutri Grade
シンガポール



※2020年、飲料からの糖分摂取を低減対策として導入。Dの飲料は、広告禁止

【企業単位での導入事例】



- 2004年から導入
- 2019年から欧州では Nutri-Score表示を採用



- 2022年10月までに自社栄養プロフィールモデルを公表予定



- 2020年5月、日本企業として初めて栄養プロフィールモデル (ANPS) を導入
- 2021年12月、日本の食文化を踏まえたメニュー用栄養プロフィールモデルを開発

(出所) 農林水産省資料、その他公開情報より、みずほ銀行産業調査部作成